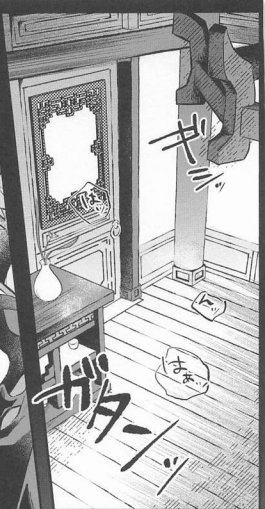




TACHI
CHRONUS cider

それ
を
人
は
呼
ぶ
ん
だ
オ
ル
と
yobunda

TARTAGLIA
X
ZHONGLI
GENSHIN
UNOFFICIAL FANBOOK





...ねえ先生

俺のことなんて
何とも思っていないんだろ

なら、
なんで

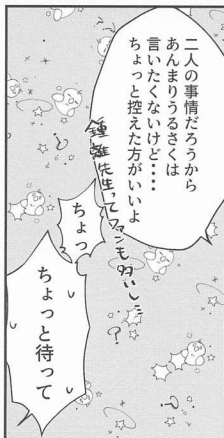
そんな顔
するんだよ



attention

タルタリヤが感情的
文化を捏造しています

なんでも許せる人向け





そんな噂になってるの



そりゃ……

鍾離先生のことは
好きか嫌いかで
聞かれたら
嫌いではないよ？



異国人、特に
俺みたいな奴にも
隔たりなく
接してくれる
現地の知識人は
貴重なんだから

そういった意味では
大切にしているけど

でもあくまで
ビジネスライクな
関係だよ



……鍾離先生が
特別扱いじゃ
ないって言うならさ、

じゃあ俺が同じ金額
使っても
ぼんと出してくれるの？



それを言うなら
旅人、君にだって
俺は同じように
援助してるだろ

そうだけど……
桁が違うじゃん

それこそ
俺が知ったこと
じゃないよ

鍾離先生に言ってくれ



まあ確かに

そういう所だよ
先生に甘いんだって

甘やかさないぞ!!

そうかなあ



お前が私えよ☆
ほら!

え?
出さないよ

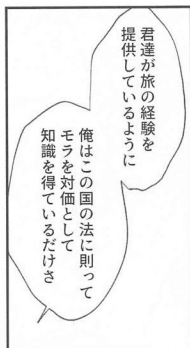
あんまり
ちゃんとしてるぞう



そういえば鍾離も
資金援助を受けるだけの
関係だって...

公子には興味ないって
言い切ってたもんな





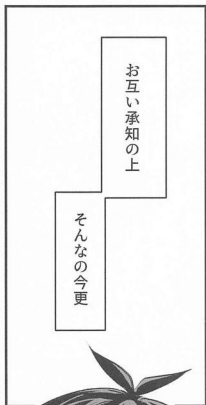




オイラだってまさか
公子があんな顔するなんて
思ってたんだよね!

そうだよ

俺達は
利用し利用される
ただそれだけの関係だ





最近フオンテーヌから
入ってきた文化でな

この時期に
想い人や世話になった人に
贈り物を送るのが
流行っているんだ

へえ



不変なものなど無いし
文化というのは
人と人の間で
紡がれていくものだ

変化を受け入れる
というのは
必ずしも悪では無い



普段見ないような
出店や調度品もあるぞ

はあ

楽しそうだね

でも璃月の文化大好きな
先生としては
こういうのはどうなの

おこらないだね

はあ

はあ



で、俺を呼んだってことは何か欲しいものでもあったの？

違うぞ

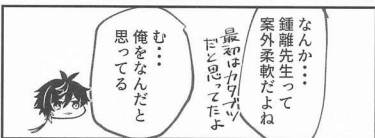


勿論過去の人々が紡いできた伝統を後世へと繋ぐことも大事だがな

ふうん…



俺も今年はこのイベントに興じてみようと思ってる



なんか…

鍾離先生って案外柔軟だよな

最初はカリガツだと思ってたよ

む…俺をなんだと思ってる



それって

この時期に想い人や世話になった人に贈り物を送るのが流行っているんだ

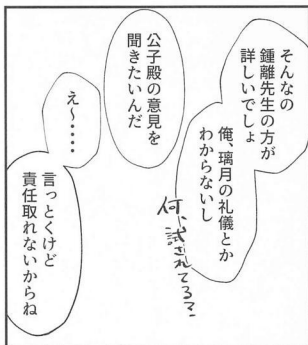
どっちに



先生が

贈り物

どれも贈るべきか迷っていたんだ





櫛を贈るって
いうのはね、

『共に白髪になるまで
添い遂げる』っていう
意味があるんですよ

…先生？

お熱いぞすねっ！
♡♡♡

戯れがすぎる
んじゃない？

ははっ
何のことだ？

利用し利用される
ただそれだけの関係

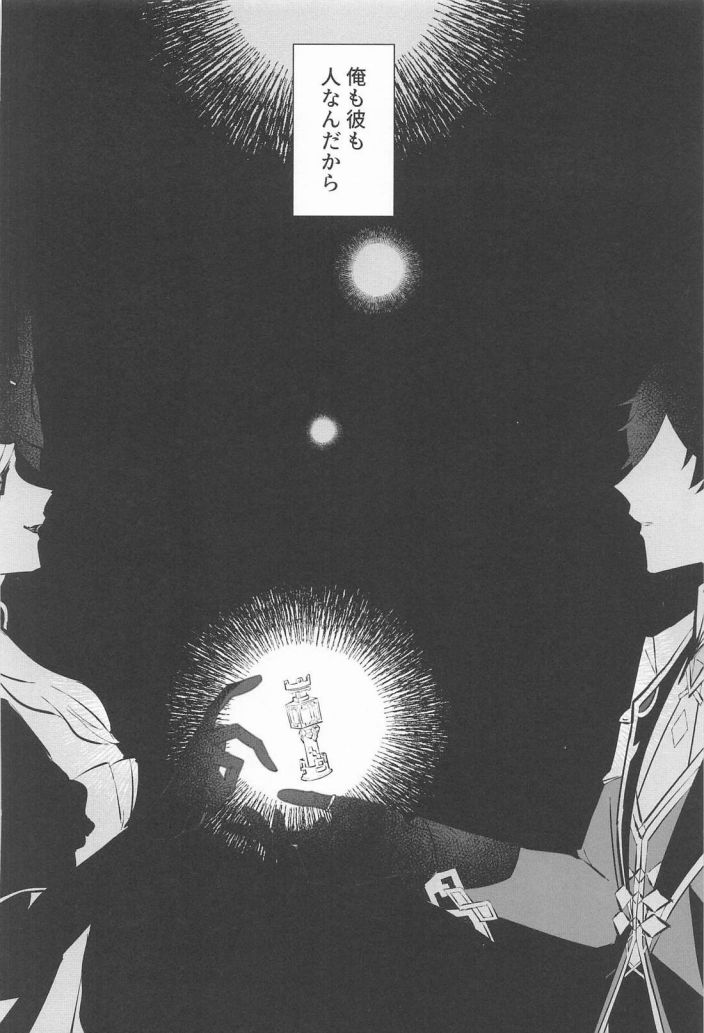
…でも
多少の感情は
附随するだろ

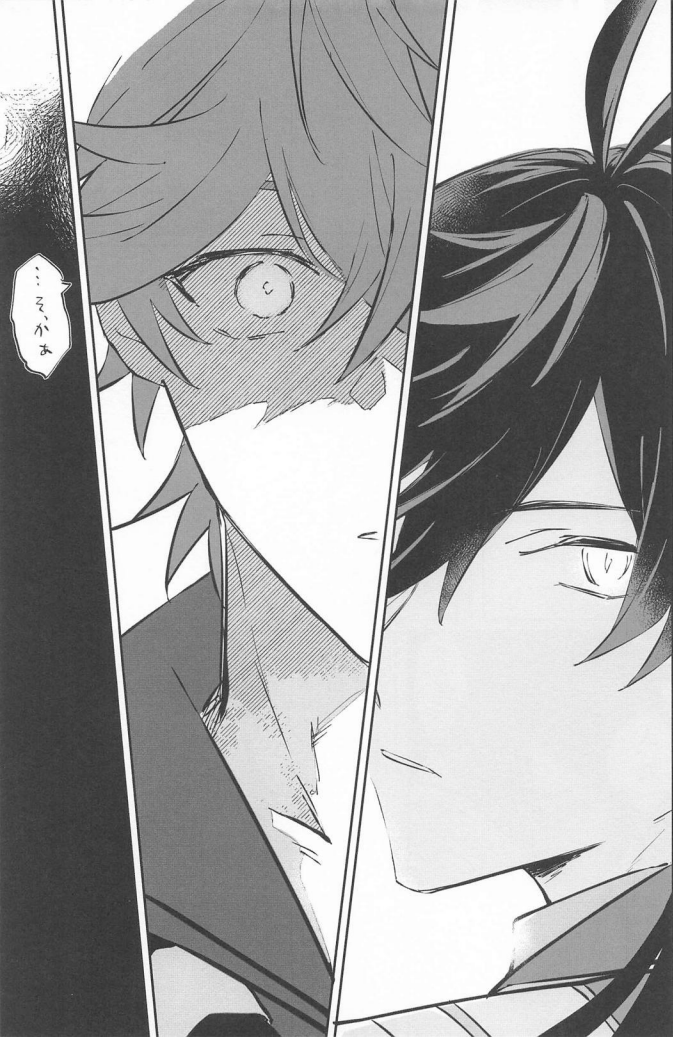
そきそきニホって
贈った、って
三あなくない？

「お母ちゃん」
問題だ

えー？

俺も彼も
人なんだから



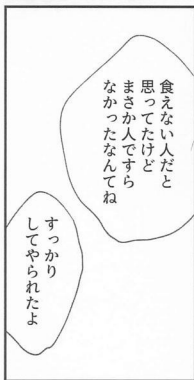


...そ、かあ



…抵抗

しないんだ？



食えない人だと思っただけど
まさか人ですら
なかったなんてね

すっかり
してやられたよ



ねえ

…何か言っつてよ



今の俺は、

人、だ



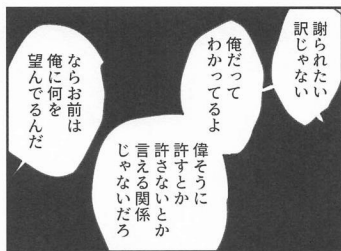
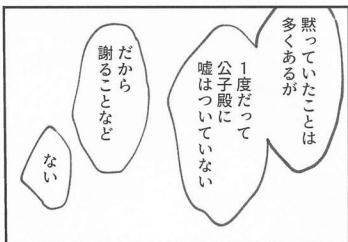
でも神様でも
人並みに
興奮するんだ

あは…
いいね

俺まで
興奮してきちゃった









何を食べてても



最近は何を見ても



気がついたら
考えてて

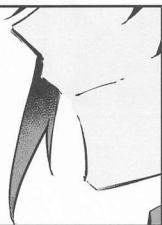
先生と一緒に
食べたいとか



これ先生が
言ってたやつだとか



俺が居なくなったら
寂しいくらいは
思ってくれるのかなって



俺は



どうせもう
終わる関係だ









何故、泣く？

……
なんでだろうなあ

ぽた

あんたの事、踏み躪れば
少しは溜飲が下がるかと
思ったのに

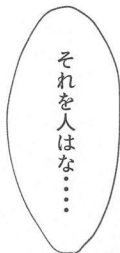
全然ダメ

俺

あんたの
笑った顔の方が
好きみたい

…忘れられそうに
ないや





【あとがき】

タルは恋愛より戦いがしたい！な性格だし

先生も知識として知ってはいてもそういう気持ちを特定個人には抱いたことなさそうだな……

タル鍾、こんなに立場が違うのにお互いに初恋だったらいいな……

と思って描きました……

先生は自分が恋をしていると自覚してからは時々タルに仕掛けたりしていて、一方無自覚タルは先生が他の人と仲良くしてたらイラついちゃったりして何で今俺イラついてるんだろう???て

大混乱してたらかわいいなと……

年齢なりに恋心に戸惑うタルと

タルタリヤには自分でその気持ちに気づいて欲しい先生の話でした。

最後偉そうに恋について語ってますが

先生もその気持ちを知ったのはタルに出会ってからです。

初めての感情は刺激的だね、先生……

タル鍾に沼って2人が恋を自覚しちゃう話が描きたい！と

突発で描き始めたので色々と拙いところも多い本ですが

お手に取って頂きありがとうございます。

次はアホエロ本を描きたいです。

それを人は恋と呼ぶんだ

発行日：2024/05/05

発行者：たち【CHRONUS cider】

印刷会社：栄光印刷様

Twitter：@tcmr_ts

pixiv：1428708

mail:xchirorux@gmail.com

※無断転載・複製・複写・インターネット上への掲載

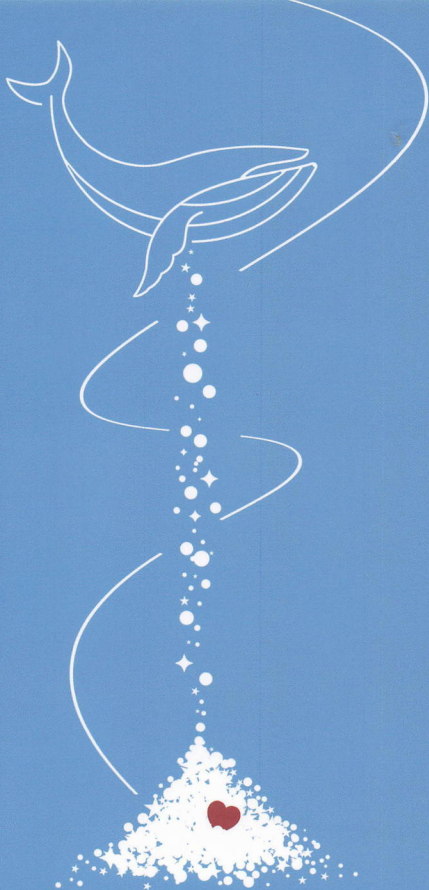
(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)は禁止です。

ネットオークション、フリマアプリでの転売はご遠慮ください。

処分する際は同人誌専門の中古書店に売却していただくか、

中身が分からない状態にいただいた上で

可燃ゴミとして廃棄してください。



C H R O N U S c i d e r